

# 梅毒が増加しています！！

## ■ 流行状況

◇全国では、H24 年まで 1,000 件に満たなかった梅毒の届出数は増え続け、H28 年には 4,000 件を超えました。女性は 20 歳代、男性は 20～40 歳代に多く、特に女性の増加が顕著となっています。

◇長野県では、H27、28 年に急増し、H26 年まで 10 件以下だった届出数は、H28 年には 20 件になっています。女性は 20 歳代、男性は 30～50 歳代に多く、全国と同様に女性の増加が顕著であり、15～20 歳代、70 歳以上では女性の割合が高くなっています。

## ■ 梅毒とは

◇梅毒トレポネーマという病原菌による感染症です。  
◇主な感染経路は、病原菌と粘膜や皮膚の直接の接触であり、性的接触などで感染します。

◇痛みのない潰瘍が性器に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、さらには数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。

◇妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。

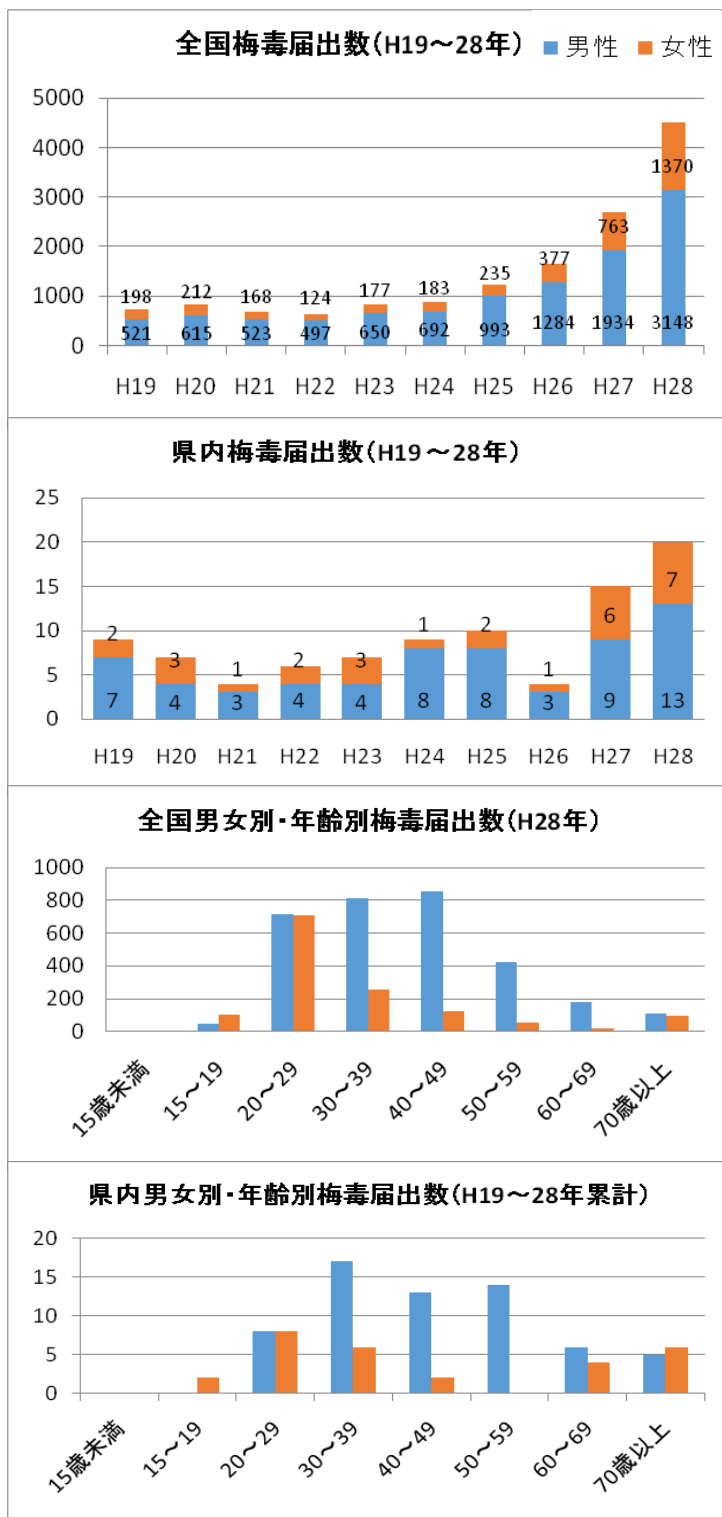
◇早期の薬物治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。

## ■ 予防・対策

◇コンドームの適切な使用により感染のリスクを減らすことができます。

◇早期発見・早期治療が大切です。まずは、検査を受けましょう。

◇皮膚や粘膜に異常があった場合は、性的接触を控え、早めに医療機関を受診しましょう。



(H19～26 年は感染症発生動向調査事業年報、H27・28 年は速報値による)

★保健所では性感染症に関する相談・検査（梅毒、HIV、クラミジア）を無料・匿名で行っています。

★検査は予約制です。

★保健所（県保健福祉事務所、長野市保健所）までお問い合わせください。



なお、県保健福祉事務所では、相談・検査を受けた方へ「セーラームーン啓発グッズ」をお渡ししております。ただし、数には限りがございますのでご了承ください。